

# DEH-P710

# 取付説明書

本製品はJEITAコードカラーに対応しています。

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

**販売店様へ**  
接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

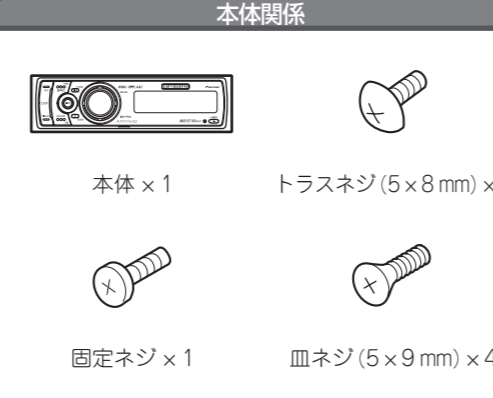
※ 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

パイオニア株式会社  
〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 2005  
<KMMZX> <05H00000> <XRA7006-A/N>


## はじめに 1 接続・取り付け部品を確認する

**本体関係**



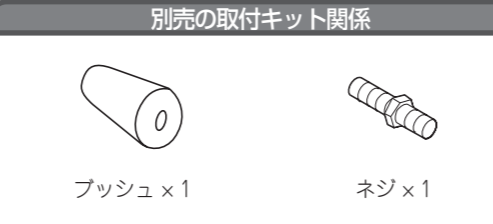
本体 × 1  
トラスネジ (5 × 8 mm) × 4  
固定ネジ × 1  
皿ネジ (5 × 9 mm) × 4

**コード関係**



電源コード × 1  
音響特性測定用マイク × 1  
(取扱説明書)

**別売の取付キット関係**



プッシュ × 1  
ネジ × 1

**別売の取付キットで本機を取り付ける場合**

- プッシュを使用した取り付けを行う場合、本機に付属のネジとプッシュを使用してください。別売の取付キットに同梱のネジ、プッシュを使用すると、正しく取り付けられないため本機の故障の原因となります。

## 組み合わせ 1 システムの組み合わせについて

### システム一覧表

このシステム一覧表は、カーステレオの取り付け位置（コンソール）にDサイズで2台分の取り付けスペースのある車種が対象です。2台分の取り付けスペースがない車種や、3台分まで取り付けスペースがある車種のシステムについては、お買い上げの販売店にご相談ください。

	組み合わせ例1	組み合わせ例2	組み合わせ例3	組み合わせ例4	組み合わせ例5	組み合わせ例6	組み合わせ例7	組み合わせ例8
本機 (「DEH-P710」)	○	○	○	○	○	○	○	○
5.1ch対応・DSPユニット (「DEQ-P9」)	○	○	○	○	○	○	○	○
AVシステムTV (「AVX-P7」など)		○	○					
マルチCDプレーヤー (「CDX-P670」など)	○	○	○	○	○	○	○	○
マルチDVDプレーヤー (「XDV-P9II」など)				○	○	○	○	○
DVDプレーヤー (「AVX-P9DV」など)					○	○	○	○
RCA/IP-BUSインターコネクター (「CD-RB20」など)			△		△	△	△	
フロントスピーカー (内蔵アンプ使用)	○	○	○	○	○	○	○	○
リアスピーカー (内蔵アンプ使用)	○	○	○	○	○	○	○	○
HDDナビゲーションサーバー (「AVIC-H990」など)				○	○	○	○	
HDDナビゲーションセット (「AVIC-HRV02」など)					○	○	○	
フロントスピーカー (「DEQ-P9」内蔵アンプ使用)				○	○	○	○	
センタースピーカー (「DEQ-P9」内蔵アンプ使用)				○	○	○	○	
リアスピーカー (「DEQ-P9」内蔵アンプ使用)				○	○	○	○	
サブウーファー (外部アンプ (「GM-A3200」など) 使用)	○	○	○	○	○	○	○	○

○ 印：  
組み合わせで使用することができます。

△ 印：  
組み合わせで使用すると、市販のポータブル機器やVTRなどの外部機器の音声を聞くことができます。

## 組み合わせ 2 本機に「DEQ-P9」を接続したときのシステムについて

### 光デジタル入力接続表

本機に別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続したシステムには、パイオニア製DVDプレーヤーなどを組み合わせることができます。「DEQ-P9」は光デジタル入力を2系統装備しているため、DVDプレーヤーなどのデジタル出力を持った機器を同時に2台接続できます。

「DEQ-P9」の光デジタル入力1 (OPT. IN 1)、光デジタル入力2 (OPT. IN 2) に接続できる機器には、それぞれ制限があります。下の表を参照して、正しく接続してください。

\* 接続する端子を誤ると、音声为正しく出力されない場合や、コントロールできなくなる場合があります。

\* AUX接続となる機器の場合は、接続した機器のソースに合わせて、デジタル/アナログ切り換えを行ってください。(取扱説明書)

\* 接続について、詳しくは販売店にご相談ください。

	DEQ-P9 (接続先)		OPT. IN 1へ		OPT. IN 2へ
接続 3	DEQ-P9	+	XDV-P9 II	+	AVIC-HRV02
接続 4	DEQ-P9	+	XDV-P9 II	+	AVIC-DRV05
接続 5	DEQ-P9	+	XDV-P9 II	+	AVIC-DRV02
接続 6	DEQ-P9	+	XDV-P9 II	+	AVIC-XH990
接続 7	DEQ-P9	+	XDV-P9 II	+	AVIC-H990
接続 8	DEQ-P9	+	AVX-P9DV	+	XDV-P9 II
接続 9	DEQ-P9	+	XDV-P9 II		使用しません
接続 10	DEQ-P9	+	AVX-P9DV		使用しません

接続 1 接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

本機と他の製品では同じ動きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ動きのコードどうしを接続してください。

- 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4Ωから8Ωのものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。

- ガラスアンテナ車は、アンテナプースターの電源を、必ず本機の青リード線（オートアンテナ）に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナプースターの電源の位置は、車種によって異なります。（ラジオがONにならないと、プースターがONにならない車もあります。）詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。

- 本機のアンプにはBPTLという回路を使用しています。スピーカーのリード線を直接アースしたり、複数のスピーカーの（-）リード線を、共通にして接続しないでください。

- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。

接続のポイント

IP-BUS、光デジタルラインの接続について

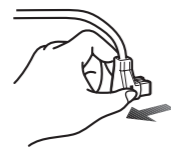
- IP-BUSおよび光デジタルラインの端子とケーブルは、同じ色どうしを接続してください。（コネクターの接続部分が色分けされています。）

電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

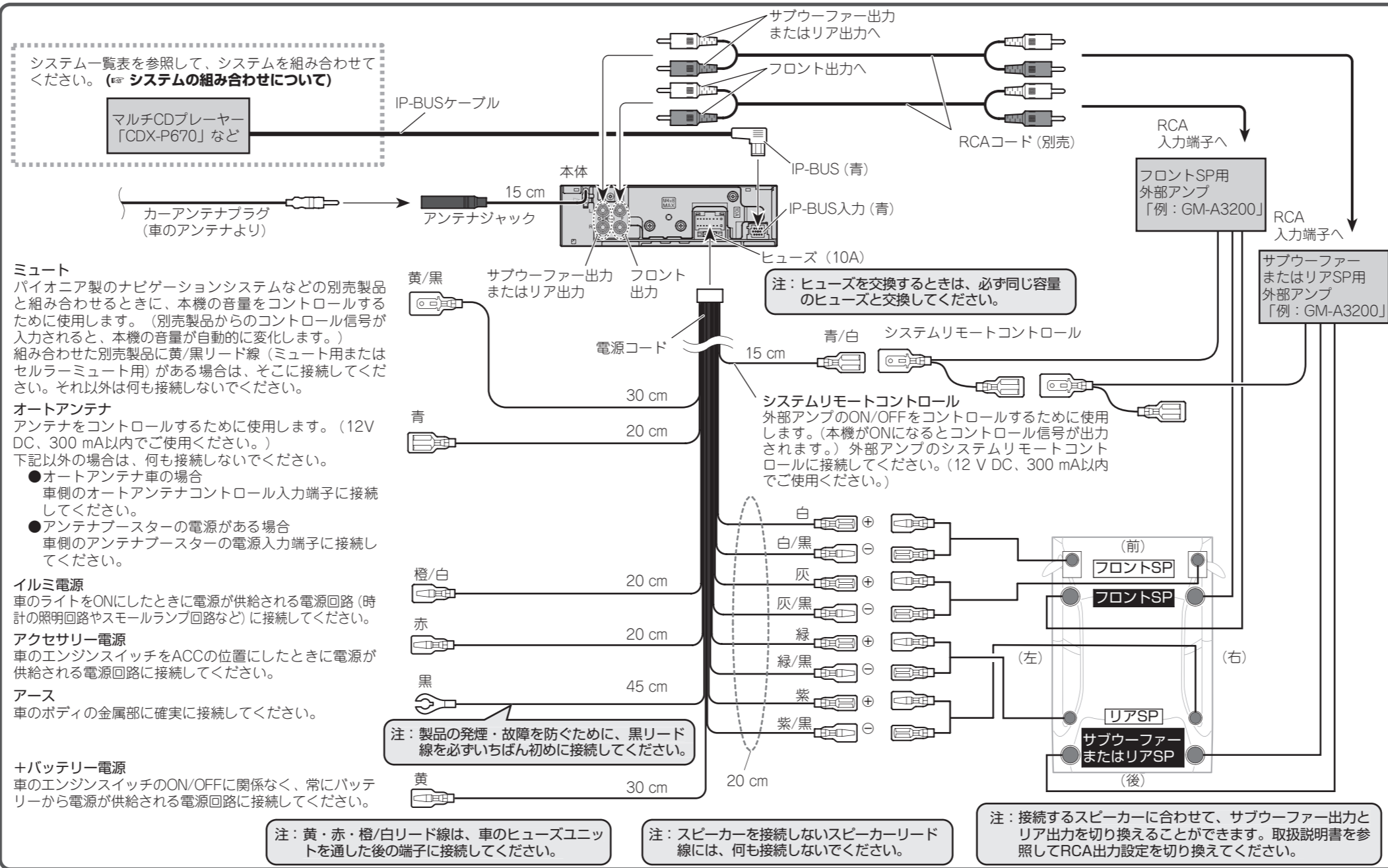
コネクターの着脱のしかた

- コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- コネクターを外すときは、図のようにコネクター部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



接続 2 電源コードの接続

—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—



**ミュート**  
パイオニア製のナビゲーションシステムなどの別売製品と組み合わせるときは、本機の音量をコントロールするために使用します。（別売製品からのコントロール信号が入力されると、本機の音量が自動的に変化します。）組み合わせた別売製品に黄/黒リード線（ミュート用またはセルラミュート用）がある場合は、そこに接続してください。それ以外は何も接続しないでください。

**オートアンテナ**  
アンテナをコントロールするために使用します。（12V DC、300 mA以内でご使用ください。）下記以外の場合は、何も接続しないでください。

- オートアンテナ車の場合  
車側のオートアンテナコントロール入力端子に接続してください。
- アンテナプースターの電源がある場合  
車側のアンテナプースターの電源入力端子に接続してください。

**イルミ電源**  
車のライトをONにしたときに電源が供給される電源回路（時計の照明回路やスモールランプ回路など）に接続してください。

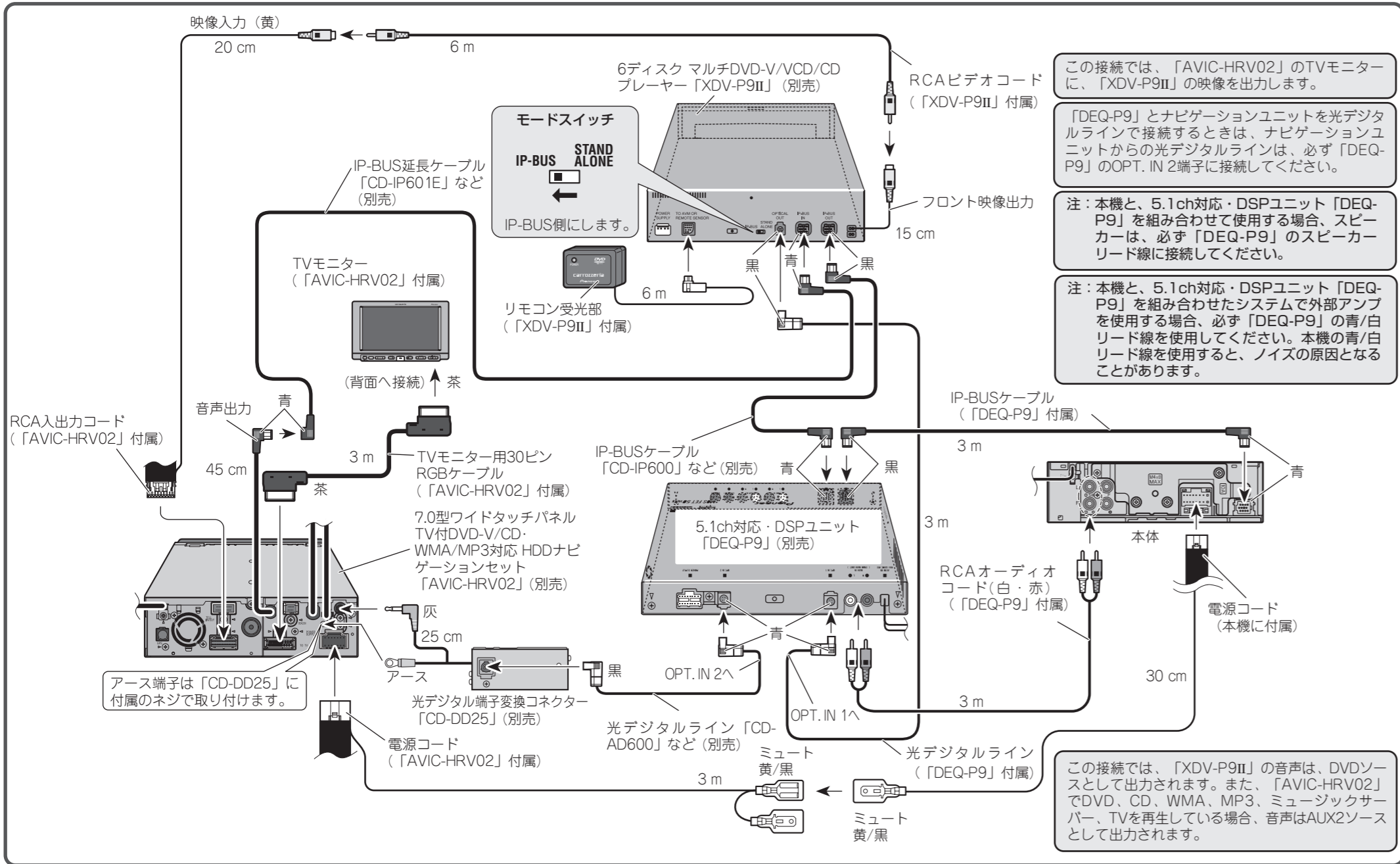
**アクセサリ電源**  
車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

**アース**  
車のボディの金属部に確実に接続してください。

**+バッテリー電源**  
車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

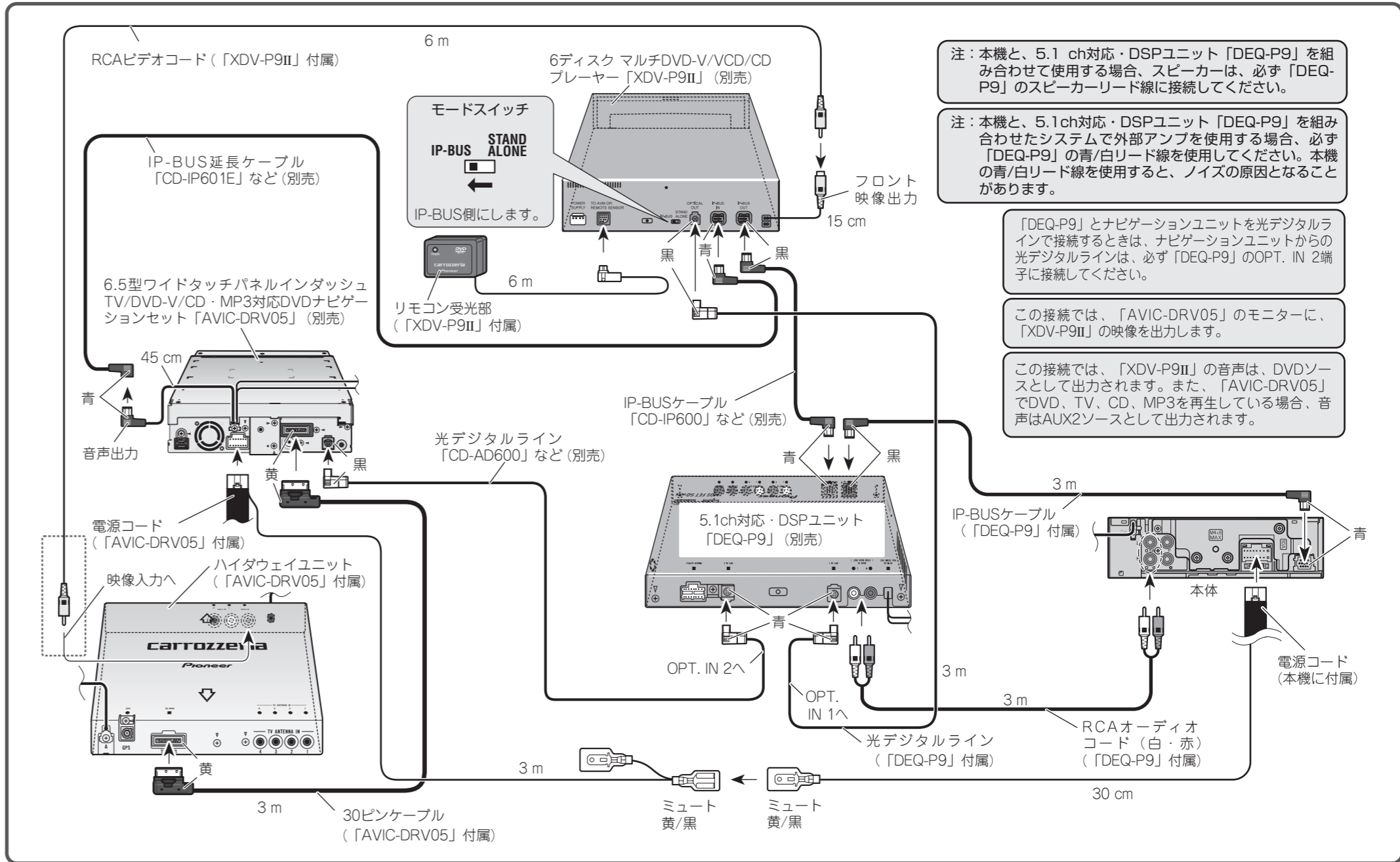
接続 3 AVIC-HRV02 (OPT. IN 2接続)、XDV-P9II (OPT. IN 1接続)、DEQ-P9との組み合わせ

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



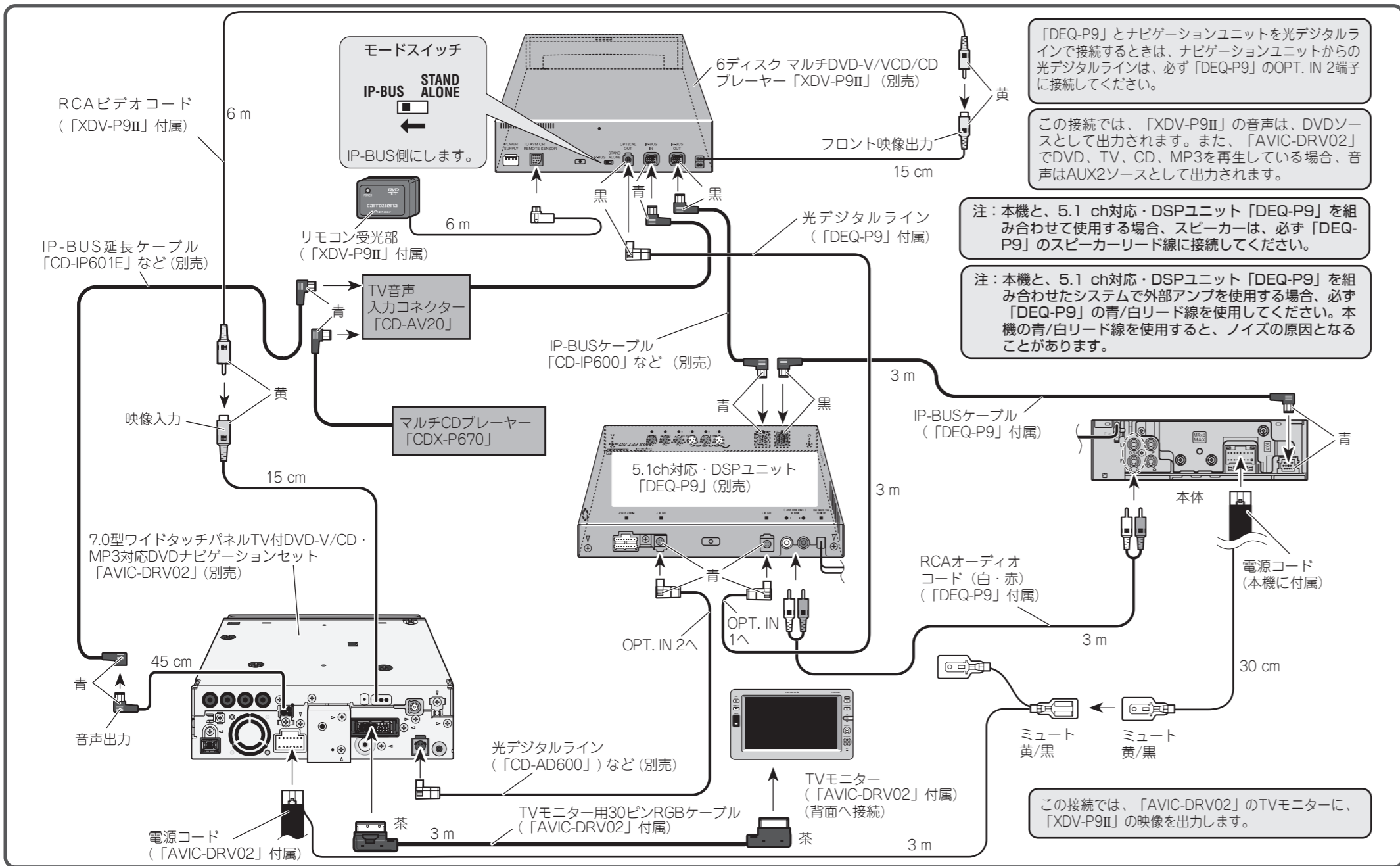
接続 4 AVIC-DRV05 (OPT. IN 2接続)、XDV-P9II (OPT. IN 1接続)、DEQ-P9との組み合わせ

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



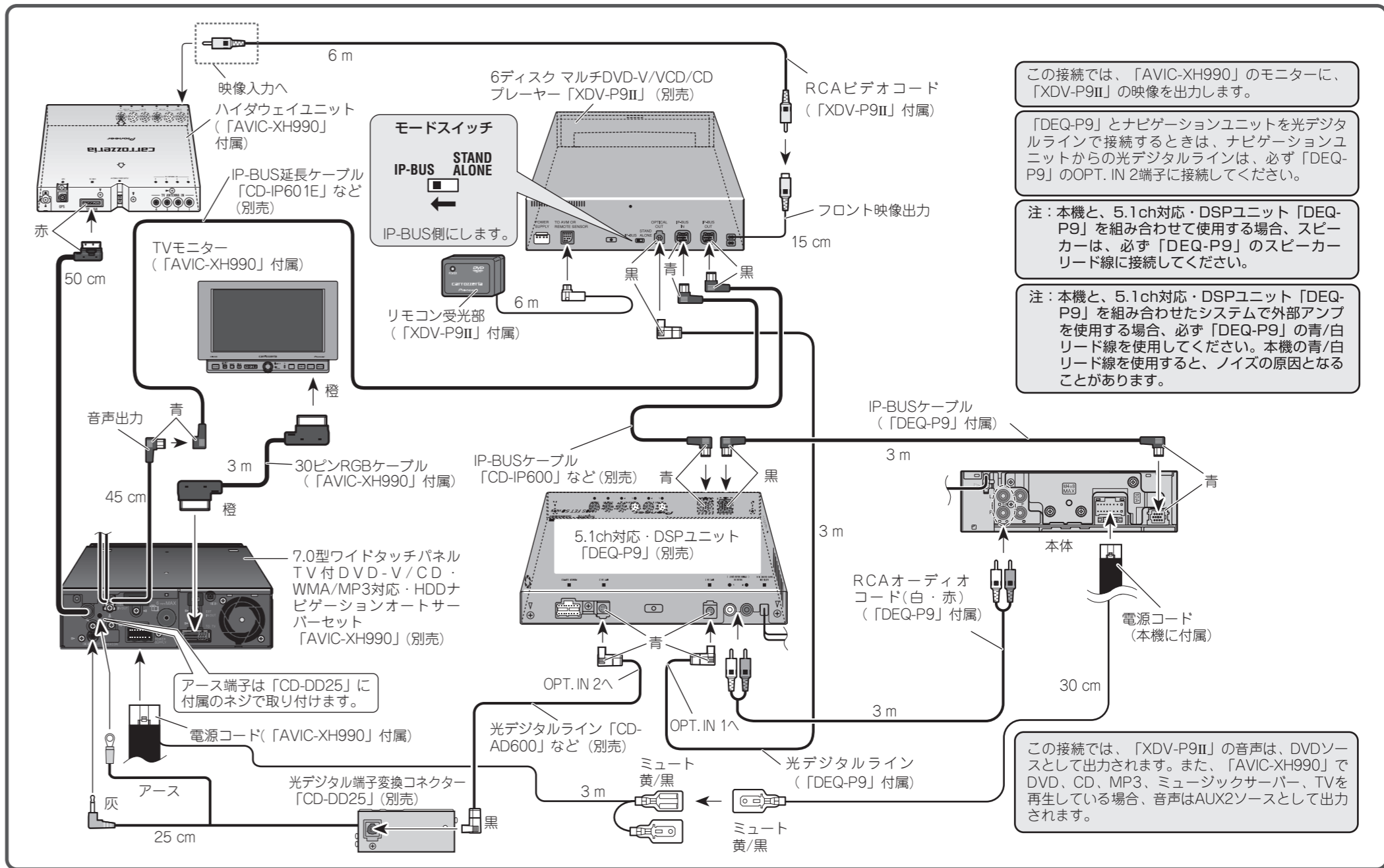
## AVIC-DRV02 (OPT. IN 2接続)、XDV-P9II (OPT. IN 1接続)、DEQ-P9、CDX-P670との組み合わせ

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



## AVIC-XH990 (OPT. IN 2接続)、XDV-P9II (OPT. IN 1接続)、DEQ-P9との組み合わせ

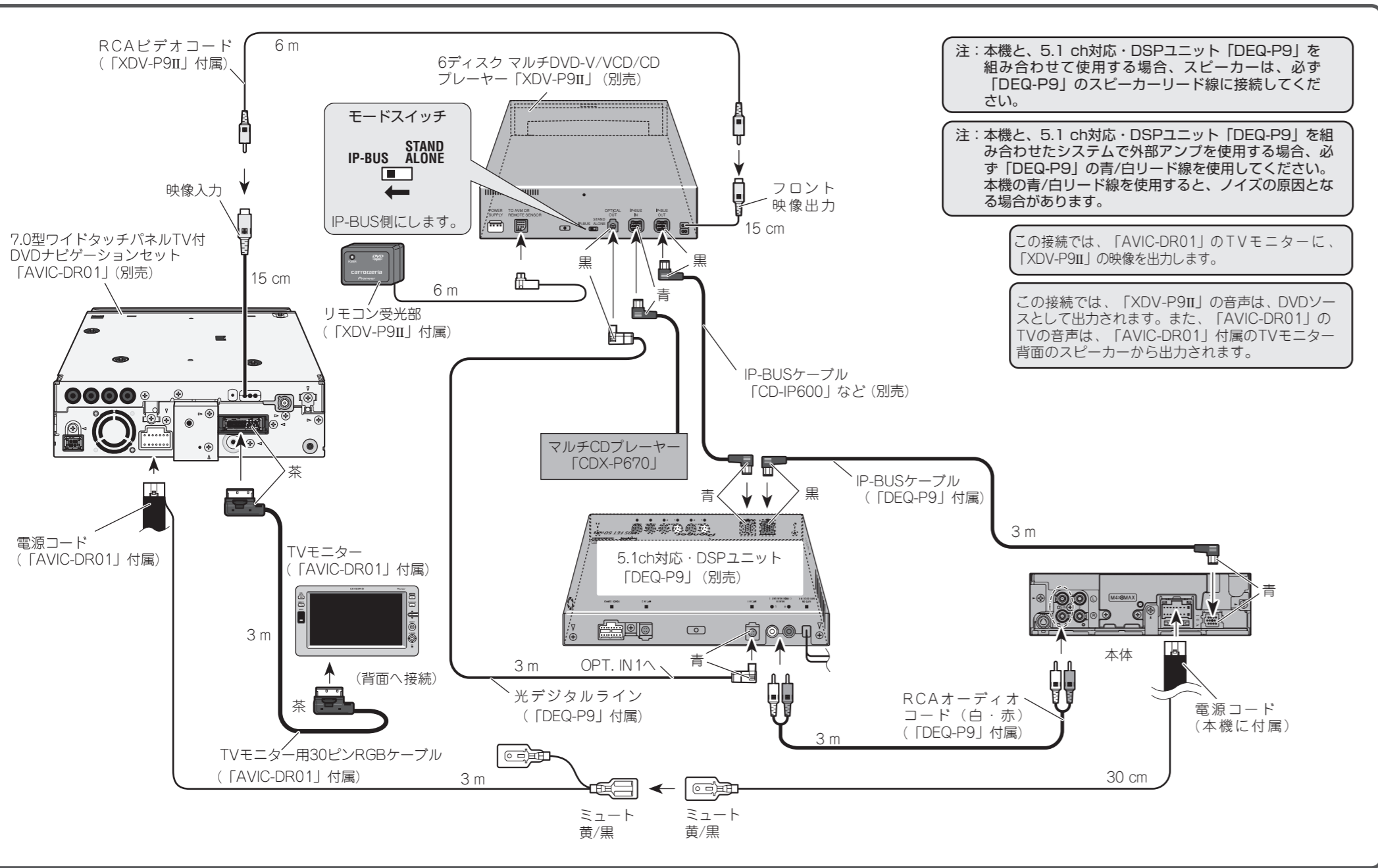
詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください





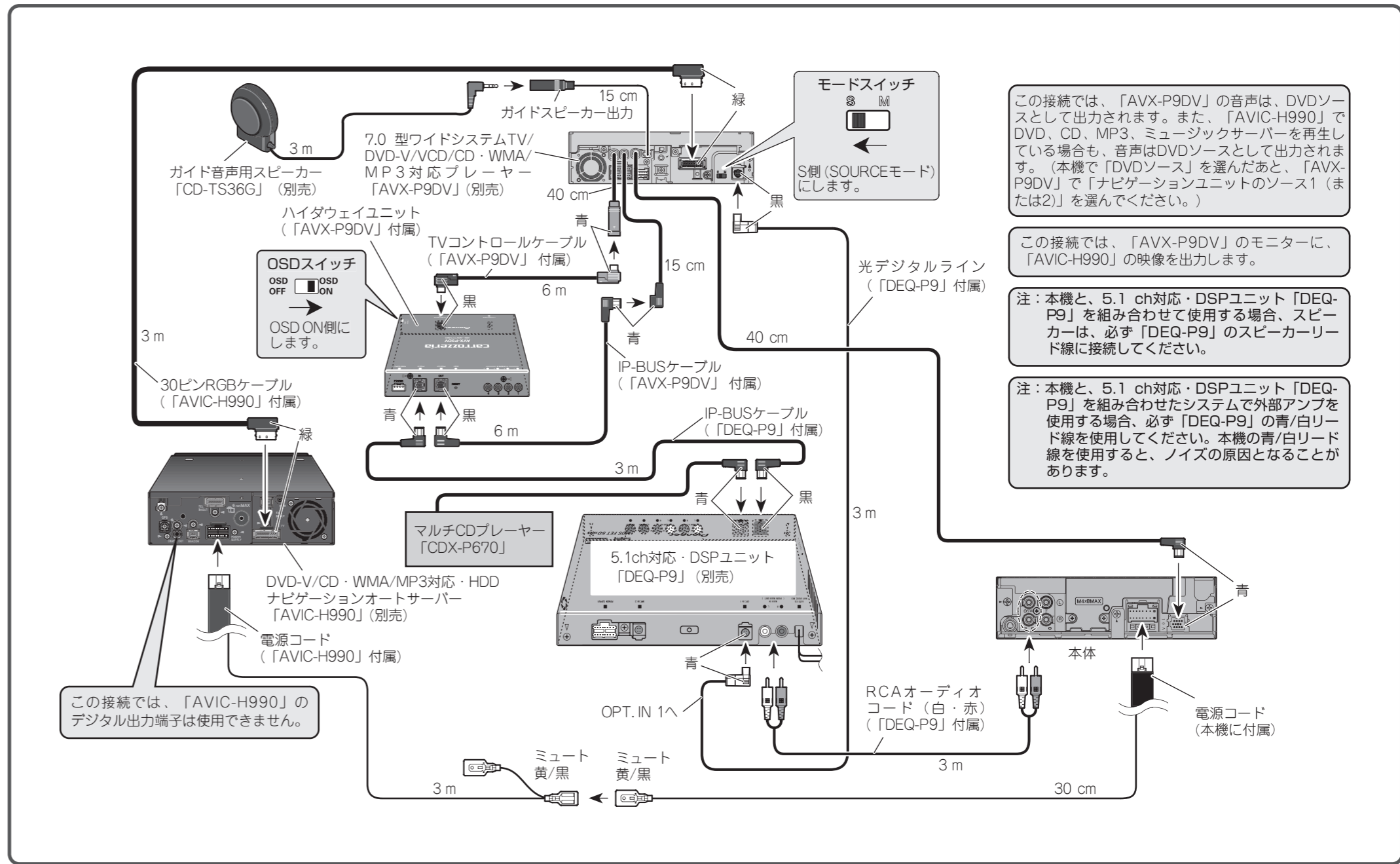
接続 9 AVIC-DR01、XDV-P9II (OPT. IN 1接続)、DEQ-P9、CDX-P670との組み合わせ

——詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください——



接続 10 AVIC-H990、AVX-P9DV (OPT. IN 1接続)、DEQ-P9、CDX-P670との組み合わせ

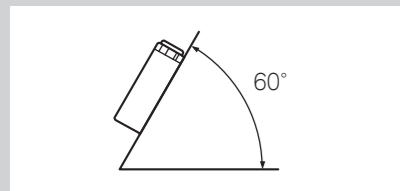
——詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください——



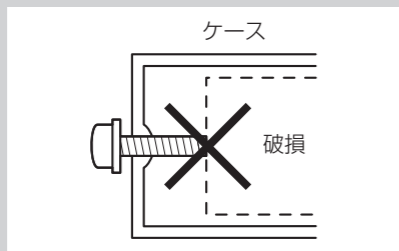
## 取付 1 取り付けの前に知ってほしいこと

### 取り付け上のご注意

- 本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して60度以内の角度で取り付けてください。



- 必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして危険です。



### 取り付けのポイント

#### 取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

#### 取付キットを別売しています

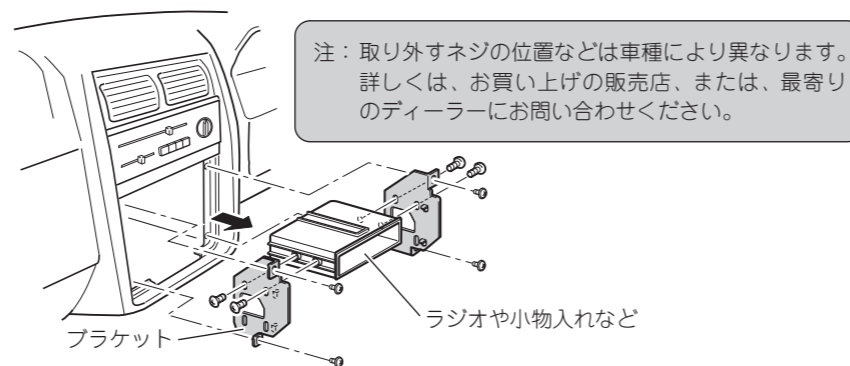
- 車種や年式によっては、別売のパイオニア取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意しておりますので、販売店にご相談ください。
- ダッシュボード下へ取り付ける場合は、Dサイズ汎用取付ケースやアンダーダッシュ用取付キットをご使用ください。

## 取付 2 本体を取り付ける

### 取り付け例 (トヨタ車、日産車への取り付け)

#### 1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを止めているブラケットを取り外します。そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



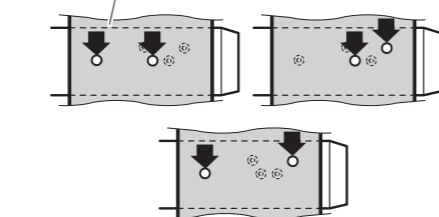
注：取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

#### 2 ネジ止めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

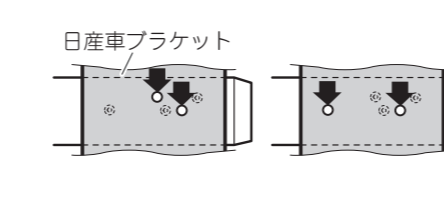
##### ■トヨタ車の場合

トヨタ車ブラケット



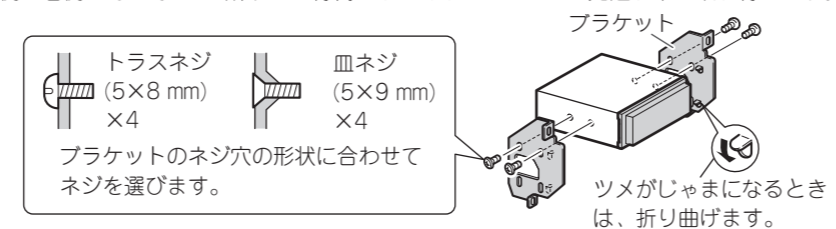
##### ■日産車の場合

日産車ブラケット



#### 3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ止めして、元通り車に取り付けます。

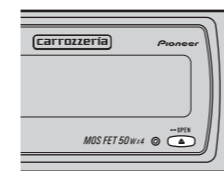


## 取付 3 フロントパネルを固定する

フロントパネルを取り外す必要のない場合は、付属の固定ネジでフロントパネルを固定して、お使いください。

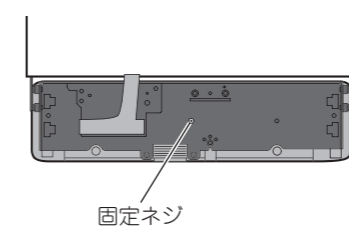
#### 1 フロントパネルを開ける

▲ボタンを2秒以上押す  
フロントパネルが開きます。



#### 2 フロントパネルを固定する

フロントパネルを開けた状態で、固定ネジを使って、フロントパネルを中ブタに取り付ける



## 動作確認 1 動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

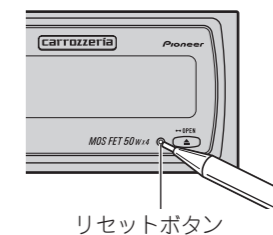
#### 1 接続・取り付けをもう一度確認する

確認  
接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見て確認してください。

#### 3 車のエンジンをかける



#### 2 ボールペンの先などでリセットボタンを押す



#### 4 本機の動作を確認する

(☞ 取扱説明書)